

市民医療講座のごあんない

多数のご来場をお待ちしています！

市立病院では、毎年、市民の皆様最新の医療情報を提供するため、連続講座を開催しています。



テーマ	とき	場所	講師
前立腺がんのお話	9月28日(土) 午後2時から4時	箕面文化・交流センター 多目的室 (みのおサンプラザ1号館地下1階)	泌尿器科医師
緩和ケアってなに？	10月5日(土) 午後2時から4時	箕面市立メイプルホール 小ホール	緩和ケアチーム 医療スタッフ等
助産師と学ぶ赤ちゃんの発達と運動	10月19日(土) 午後2時から4時	みのお市民活動センター 多目的室 (ヴィソラEST-1 2階)	3階東病棟助産師
スんげ 嚥下障害のリハビリテーション	11月9日(土) 午後2時から4時	市立病院いろはホール (リハビリテーション棟4F)	リハビリテーション科 医師

※ 手話通訳・要約筆記をご希望のかたは、事前にご連絡ください。

医療・看護フェア



血圧測定

「医療・看護フェア」を5月9日(木)、10日(金)の2日間で開催しました。

医療・歯科・看護相談、フードモデルを使用した栄養相談、血圧や骨密度などの計測、AEDを使用した救急蘇生体験など様々なイベントを実施し、延べ1,486人の方が参加されました！参加者からは「健康の大切さを再認識した」、「明るい看護師さんの笑顔に励まされました」などの声をいただきました。

今年の夏も小児科待合いにゴーヤのグリーンカーテン！収穫したゴーヤは1階ロビーで来院者にお持ち帰りいただいています。



たなばたコンサート



「たなばたコンサート」を7月1日(月)に開催しました。

今回は、亜紀ひろ子さんの歌と村山知美さんのピアノ演奏の共演でした。

アメイジンググレイス、アヴェ・マリアなど10曲を披露され、大勢の参加者を魅了しました。前日に入院された患者さまから「こんな良いものが聞けるなら、退院できなくなるなあ」とご感想をいただきました。

コンサートの最後には、参加者全員で「七夕さま」と「ふるさと」を合唱し、大盛況となりました。

予告 12月：クリスマスコンサート
3月：ひな祭りコンサート



箕面市立病院だより

2013.7 Vol.28

<http://www.minoh-hp.jp>

編集発行：箕面市立病院 患者サービス・広報委員会 ☎072-728-2001(内線2719)



INDEX

〈特集〉 リハビリテーションセンター紹介 各種イベントの報告とごあんない



H25.6.22 出産
H25.6.27 撮影

入院から在宅まで一貫したサポート！ リハビリテーション

ホームページも併せてご覧ください。



眞面市立病院
HP QRコード



怪我をしたり、病気になったら・・・。その後のリハビリは？退院後の生活は？どんなスタッフがリハビリを指導してくれるの？などなど、不安や疑問は尽きません。市立病院では、脳血管障害、神経筋疾患、整形外科的疾患の手術後などの患者さまに対し、入院後早期にリハビリテーションを開始するとともに、回復期病棟でのリハビリテーション、及び訪問リハビリテーションを通して、入院から在宅まで一貫したリハビリテーションを実施できる体制を整えています。

入院直後の

急性期

入院中の筋力低下や関節拘縮（こうしゅく）を防ぎ、回復期のリハビリにつなげます。



入院数日後から
リハビリ開始！

今後も、多くの人に
リハビリを受けてもら
えるよう、体制を
充実していきます！



急性期・回復期ともに、
365日リハビリを実施しています！
毎日行うことで、早期の回復や在宅復帰をめざしています。

病状が落ち着いた

回復期

退院後の生活を念頭に、計画的に集中的なリハビリを行います。



今、注目のリハビリ！

嚥下(えんげ)リハビリ

食べることや飲み込むことに問題がある患者さまのリハビリも行っています。また、より安全な飲み込み方を検討するために造影検査や内視鏡検査も行っています！



8月からは、
外来でも嚥下治療
をはじめます！

回復して帰宅後の

維持期

日常動作を自分で行うことで、退院後も入院期間中に回復した身体機能を維持します。



訪問リハビリテーションのスタッフがサポートします！

7月からは、言語聴覚療法士も訪問します！
また、今秋には、高次脳機能障害の診断や、脳卒中による痙縮（手足の筋肉のつっぱり）を抑制する外来を開設する予定です。



専門スタッフが連携して、患者さまのリハビリをサポートします。

作業療法士 (OT)

患者さまの趣味、嗜好などを考慮しながら目標を設定し、園芸、手芸、陶芸などの作業活動を通して社会的適応能力や応用動作能力の回復を進めます。



患者さまのやる気を引き出せるように、信頼関係やコミュニケーションを大切にしながら、訓練を行っています。

理学療法士 (PT)

関節の曲げ伸ばしやマッサージなどを行い、立ち上がる、歩くといった生活の基本となる動作をできる限り可能にする訓練を行います。



一人ひとり、リハビリへの取り組み方や、回復の速さが全く異なるため、それぞれに合った対応を心掛けています。

言語聴覚 療法士 (ST)

言語コミュニケーションに障害が起きた患者さまが抱える問題点を分析し、日常生活にできるだけ困難が残らないように訓練を行います。



いろいろな職種の職員と連携しながら、患者さまのリハビリをサポートしています。

医療スタッフがチーム一丸となって患者さまの社会復帰を全力支援！

